

報道関係者各位

2005 年 8 月 5 日
愛知万博スペイン パビリオン

海上パビリオン、ビクトリア号 8月上旬大阪港到着へ ～公開スケジュールのご案内～

愛知万博スペイン パビリオン(以下、スペイン パビリオン)が、2005 年日本国際博覧会(以下、愛知万博)の開催にあわせた文化活動の一つ、16 世紀に人類史上初めて世界一周航海を成し遂げたビクトリア号が、8 月 11 日(木)に大阪港へ到着する予定です。海上のスペイン パビリオンでありますビクトリア号は、8 月 5 日(金)に名古屋港での一般公開が終了し、大阪港に向けて出港します。大阪港に到着後は、以下の通り、一般公開を行います¹。

記

公開期間:	2005 年 8 月 13 日(土)～9 月 11 日(日)
公開時間:	11:00～13:30、14:30～17:30
休館日:	月曜日、および特別イベント開催日(9 月 2 日～9 月 4 日)
観覧料:	無料
停泊地:	大阪港 天保山西岸壁(下図参照)
公開内容	- 16 世紀の船上生活の様子 - 16 世紀の食料模型の展示 - 16 世紀の航海観測機器の展示 - 船員との交流を通しての航海体験談

以上



A.海遊館 B.マーケットプレイス C.大観覧車 D.サントリーミュージアム
E.ホテルシーガルてんぽーざん大阪 F.サンタマリア G.キャプテンライン
H.天保山公園 I.天保山船客ターミナル
R.なにわ食いしんぼ横丁



¹ ビクトリア号大阪港到着日は天候により左右する場合がございます。また来場者が多い場合は整理券を配布することもございます。予めご了承ください。

<ビクトリア号について>

ビクトリア号は、16 世紀に人類史上初めて世界一周航海を成し遂げたガリオン船です。1992 年セビリア万国博覧会の開催を記念して建造された同船のレプリカは、愛知万博へ向けた航海を目的に、500 年前の建造当時と同じ材料が使用される等、史実に基づいて補強・復元されました。2004 年 10 月 12 日にセビリアのデリシアス埠頭を出航し、ファン・セバスチャン・エルカーノが当時同船で成し遂げた歴史的航海の航跡同様、大西洋、太平洋を越え、2005 年 4 月 29 日に日本（東京港）に到着しました。万博開催中は東京港、名古屋港、大阪港に停泊し、終了後は 2010 年万博の開催地である上海などアジア各地を訪問し、2006 年春にスペインに帰港します。

ビクトリア号はスペインの歴史や文化を伝えるべく、世界各国を訪問しており、海上のパビリオンとして重要な役割を果たしています。人と人とのつながりを働きかけるほか、スペインの文化を世界に広め、ファン・セバスチャン・エルカーノの歴史的偉業を紹介します。同船はまた、スペインの大学の協力を得て、4 つの研究調査プログラム（『船員の食料、またその栄養状態への影響:16 世紀と現代との比較』、『16 世紀の海洋航海:その技術的側面と船上でお生活面について』、『外洋において、環境要因が皮膚組織に及ぼす影響』、『16 世紀の造船、航海術、船上生活』、『船員と世界一周航海:人類学的研究』）を行います。ビクトリア号は全長 25.90 メートル、最大幅 6.72 メートル、排水量 170 トンです。

<愛知万博スペインパビリオンについて>

「人生のわざと智恵を分かち合う」をテーマに展開するスペイン パビリオンは、愛知万博長久手会場のグローバル・コモン 3 に位置します。パビリオンのデザインは、スペイン人建築家アレハンドロ・サエラ・ボロが担当しています。全体の構造は大型堂がイメージされており、キリスト教会の中央廊下をイメージした「プラザ」を中心に、チャペル（礼拝堂）に見たてた 5 つの展示スペースへとつながります。展示スペースは「イノベーション」、「実り豊かな大地」、「ドン・キホーテの世界」、「現代のヒーローたち」、「フィエスタ」の 5 つの側面からスペインの世界を紹介します。パビリオン内には、タパス・バー（スペイン料理店）やスペインの高級ブランド「ロエベ（LOEWE）」ショップも併設されています。またスペイン パビリオンでは、会期中、全国各地で数々のイベントを予定しています。スペインを代表する芸術家の展覧会、フラメンコ・フェスティバルや舞台公演等を通して、スペイン文化や現代スペインへの理解を促します。スペインにとって愛知万博への出展は、アジアで開催される万博への初めての参加であり、日本との関係を強める上で重要な役割を果たします。詳細については、[\[www.expoaichi2005.com\]](http://www.expoaichi2005.com)をご参照ください。



日本に向け、航海中のビクトリア号